

日野市立平山中学校 第3回学校運営連絡協議会の報告

1. 日時（場所）：令和6年2月3日（土） 15：30～16：45 （被服室）

2. 主な議題 （これまでの取組の報告）

- ①校長より あいさつ・今年度の取組・学校評価アンケート結果より報告
- ②教務部より 年度末反省・保護者アンケート・学校評価アンケートより報告
- ③生活指導部より 主な取組・現況について（校則の見直し・いじめ・不登校など）
- ④進路指導部より 進路状況・図書・道徳・総合的な学習の時間など

3. 主な協議内容（学校評価〔生徒・保護者・教職員〕等についての学校評議員からのご意見等）

【学校評価を踏まえた主なご意見・協議内容】

●【学校評議員会・学校評価に関するもの】

- ・学校評価が形骸化していないか。連絡協議会での意見がどの程度学校改善に効力があるのか。
- ・学校評価で良かったところだけでなく、悪いところ（改善点）が示されない具体的なアクションにはつながらない。
- ・学校評価のポイントが下がっていることに一喜一憂することはない。生徒・保護者・教職員が評価項目の傾向をつかみ、考えるためのいい機会と捉えると良い。
- ・学校評議員として、学校にどう関われるか、アンテナの立て方、教職員との意見交換の場が必要。評議委員会について、日野市のコミュニティスクールについての説明会（1月25日）に出席したが、マイスターの指導助言が参考になった。何となく集まって始めるのではなく、機動力をもったものにしていく必要がある。勉強も必要である。
- ・コミュニティスクールが課題にあるが、学校と保護者との関係が希薄になっていないか。地域とどのように連携していくか、大人目線ではなく、将来の子供が地域とどのような関係性になりたいと思っているのか、子供目線で考え、子供のアイデアを活かしたい。
- ・コミュニティスクールはどのように地域を巻き込むか、メンバー選びが大事である。何も知らない人が集まって0（ゼロ）から始めるのは難しい。
- ・コミュニティスクールが法制化されて久しいが、メンバーの中に核となる人がいるか、学識経験者、行政からの関りや支援が欠かせない。

●【「運動・体力向上」に関するもの】

- ・学校評価の「運動・体力向上」の項目では、運動をやりたくない生徒、部活動に所属していない生徒への手立てや評価はどうなるのか。
- ・コロナなどの感染症から欠席者は増えているのか。皆勤を奨励しているのか。
- ・朝や放課後などの時間に、クラス対抗など夢中になって団結・協働できる取組があると良い。
- ・学校は学年レクや球技大会など工夫している。体育祭などではコロナの影響が大きく、また、ケガにつながる懸念から、競技種目の選定も大分変化してきた。子どもたちの中には（種目によって）熱くなりきれない面があるかもしれない。

●【「自主的な学び」・学力向上に関するもの】

- ・SSRやポップコーンタイム、カンガルームなど学ぶ場所はあるが、そこに来られない子をどう救っていくのか考えたい。
- ・放課後、朝学活など5分か10分間学習する時間を設けられないか。漢字・計算・英単語コンテストなど、短期目標をもって学習に励む（上をめざす、教え合いなど）機会となるだろう。

●【地域に関するもの（地域防災・地域連携・学校行事など）】

- ・地域の人との関りを通して、いろいろな職業の人たちの話を聞くことは、生徒にとって新鮮に話が聞け、「自分の成長につながった」と受け止めた生徒が増加したのは素晴らしい。
- ・平山中学校が地域の防災拠点になり得ないか。通学範囲である自治会との連携で防災訓練ができないか。
- ・地域防災が経営課題の重点にあるが、防災意識が高まらないのはどうしてか。毎月の避難訓練で満足しているのではないか。
- ・自治会の防災訓練では、小学校低学年以下の保護者や高齢者の参加に偏り、児童・生徒の親世代の参加が少ない実態がある。
- ・平山中学校は防災拠点校にはなれないが、発信はできる。地域防災が実現できたらよい。
- ・学校は災害体験者からの話を聞く機会を設け、日野消防署のご協力で東日本大震災や関東大震災の話などの講演を行っている（昨年度はリモートによる宮城県の消防士の体験談）。守られる側から守る側へ中学生の意識を高めたい。防災訓練、引き取り訓練、避難訓練と防災訓練を一緒に行うなどのほか、保護者へのピーアールなど発信していきたい。
- ・合唱祭は素晴らしいものだった。アンケートの1・2年生の行事への捉えが前年度比でマイナスになったのは、「がんばりたい」という気持ちの表れではないか。
- ・総合的に先生方の取組はよくやっていると思う。取組がうまく伝わっていないのでは。伝え方の工夫が必要。
- ・浅川ふれあいマラソンなど、平山中の多数の生徒が参加し感謝している。

●【いじめ・不登校に関するもの】

- ・アンケート結果では、学年によって数値に差があった。
- ・ネットでのいやがらせやいじめなど、学校はどれだけ認知しているのか。
- ・小さいいじめを見つけるのは難しい。家庭と連携し、心の教育をやってほしい。
- ・SNSなど全国的に深刻な事案が広がっている。学校教育だけの範疇でもなく、家庭教育の理解啓発が不可欠である。
- ・カンガルームを週2日から4日に増やした。引きこもって学校に来られない生徒も少しでも学校に足を向けてくれたらと思う。
- ・学校は3月7日（木）に「未来プロジェクト」として落語家を招いて落語を聴く予定である。不登校の生徒もできるだけ参加し、学校を「笑いを分かち合い、楽しい学びの場」にしたい。

◆貴重なご意見をありがとうございました。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。